



たろはな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

420-0839
静岡市葵区鷹匠1-12-1
静鉄青葉園ビル305号室



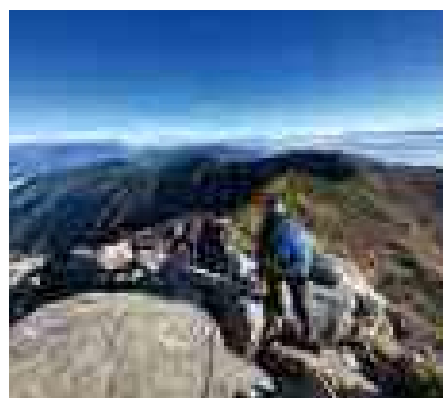
伊豆地区ラリー 10月27日(日)「水と緑のまち 三島探検ラリー」三島市内にて



静岡第14団カブ隊JOTAの日



全国スカウトフォーラム



浜松第6団ボーイ隊 木曾駒ヶ岳登山

CONTENTS

年頭のご挨拶.....2	2024年夏の気付き.....11
静岡県連盟 連盟長 鈴木 康友 氏	スカウト通信.....12
静岡県連盟 理事長 小林 透 氏	進級者紹介.....14
JOTA-JOTIの日.....4	「友情章」おめでとう9名の仲間.....14
静岡第14団JOTAの日.....6	マスコミコーナー.....14
全国スカウトフォーラム.....7	お知らせコーナー.....15
浜松東地区大会.....8	事務所移転のお知らせ.....16
伊豆地区ラリー.....9	
志太地区・島田地区 70周年.....10	



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

年頭所感 鈴木康友

明けましておめでとうございます。

日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

去年は、「第3回東海4県連盟合同野営大会」や「第13回日本アグーナリー」をはじめ、様々な活動機会の中でかけがえのない経験を積まれたことと思います。特に、他地域のスカウトや指導者との交流では、言葉では表しきれない感動を味わい、スカウト活動に対する熱い思いが生まれたことでしょう。その瞬間の貴重な体験を通じて、静岡県連盟のスローガンにある「楽しいスカウティングの展開」が達成されたことを喜ばしく思います。

今年も更に、地域社会との連携を強化し、スカウト活動がより多くの人々に理解され、仲間との交流が深まることを願っております。また、指導者の皆様が企画する国際交流や防災・環境教育など、多様なプログラムを通じて、スカウトたちが広い視野を持ち、未来を切り拓く力を育むことができるよう応援しております。

本県は、「オール静岡で幸福度日本一の静岡県」の実現という目標のもと、こども・若者は、社会を共につくる権利主体としてとらえ、学校・家庭・地域と共に、自分らしく幸せに生きていくことのできる社会づくりを進めております。静岡県連盟の活動を通じて、本県の青少年健全育成の取組推進に一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

年頭所感 小林 透

新年おめでとうございます。

新たな年の初めを迎え、皆さまには健やかにお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

去年は、元旦に「能登半島地震」が発生し、日本中が深い悲しみの中、一年が始まりました。8月8日には「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、「日頃からの地震の備えの再確認」及び、「地震が発生したらすぐに避難するための準備」について実践するという、はじめての経験をしました。

このようなことから、静岡県連盟にも「危機管理特別委員会」を立ち上げることになり、日頃からの「備え」と「危機発生時に混乱しない体制づくり」を進めていくことになりました。

被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

さて、去年は、第3回東海4県連盟合同野営大会が岐阜県高山市で開催され、静岡県から120名の指導者とベンチャースカウト、交流のある台中童軍会から20名が参加しました。また、第13回日本アグーナリーが福島県猪苗代町で開催され、静岡県から15名の指導者とスカウトが参加しました。両大会とも、キーワードは「絆(きずな)」です。

ボーイスカウトの創始者は、「スカウトは兄弟愛という世界的な精神を通して、仲間意識を育てることを邁進しよう。そうすれば、私たちは世界に平和と幸福を、そして人々の中に善意を培う助けになるだろう」と残しています。

私たちはこの言葉を心に留め、「絆」を大切にしていきましょう。

本年も幸福に満ちた1年となりますよう、お祈り申し上げます。



JOTA-JOTIの日

世界の仲間と
交信体験
してみよう!

■令和6年10月19日(土)・20日(日) ■静岡県青少年会館

JOTA-JOTI(ジャンボリー・オン・ジ・エア〜ジャンボリー・オン・ジ・インターネット)は、世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事で、スカウトや指導者がアマチュア無線やインターネットを通じて、国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする、世界最大級のデジタルスカウトイベントです。この日はアマチュア無線機を使って見知らぬ仲間と繋がることを体験しました。

JOTAにいったよ

静岡地区 静岡第10団 ビーバー隊

えんどう しほう

屋上にあがったら、アンテナが大きくてびっくりしました。だれかと話してみたくて、むせんきのダイヤルを回したけど、ザーザーという音だけで、だれも見つからなかったの、ちなみさんに教えてもらって、屋上の金子リーダーと話しました。「どうしたらめんきよがとれますか?」ときいたら「前の年の間だいを何回もやるといいよ」と教えてくれました。今e-learningをやっているの、がんばって3きゅうを取りたいです。

初めての無線通信

御殿場小山地区 御殿場第6団 ボーイ隊

高橋 晴大

私は、今回JOTAに参加して初めて無線通信に触れました。初めて相手とつながった時は、とても緊張して落ち着いて会話することが出来ませんでした。ですが、何度か繰り返すうちに面白くなり、自然に話すことが出来るようになりました。この活動で、無線通信で見ず知らずの人と話す面白さを知ることができましたので、時間があれば資格をとって、趣味の一つにしてみたいと思いました。

他団のスカウトと一緒にできてうれしかった

浜松地区 浜松第31団 ビーバー隊 宮崎 楓

わたしは、10月20日にしずおかでアマチュアむせんのたいけんをしました。むせんはとおくの人とはなすことができます。わたしは、すごいとおもいました。わたしのだんはことしてきたばかりでスカウトはわたしひとりだけなので、しずおか27だんの子といっしょにできてうれしかったです。わたしは、ほかの人がやってるのもみました。とてもたのしかったです。またいきたいです。つぎはちがうだんとできるといいです。



静岡地区 静岡第22団 ベンチャー隊

鈴木 美菜佳

10月、青少年会館で行われたJOTAでは、高校生が来たと指導者の方々が喜んで下さいました。何でも高校生年代に無線について話せる事が嬉しいとの事。私は体験運用のお手伝いをするのかなと思い参加したのですが、始まったのは無線の講義でした。突如現れたsinθや電離層といった言葉に戦々恐々としていましたが、体験運用も仕組みを理解して臨むとまた違った楽しさがありました。後輩にも高校生になったら一度体験してほしいと心から願います。

JOTA-JOTIに参加して

静岡地区 静岡第27団 カブ隊 山田 慧悟

10月20日(日)、僕はボーイスカウトの活動で「JOTA-JOTI」のイベントに参加しました。去年、アマチュア無線4級の資格を取りましたが、実際に無線を使って知らない人と話すのは初めてだったので、とても緊張しました。無線の交信を始めると、呪文の様なコールサインを言いました。コールサインは無線をする時の自分の呼び名です。変なことばだなあと思いましたが、外国語を話せなくともこの暗号さえ唱えれば僕のことを認識してもらえるのです! 無線の強みの一つ目は携帯電話が圏外の場所でも通話できることです。二つ目は周波数が合えば複数の人と同時に会話が出来ます。世界中の見知らぬ人と友達になれるかもしれないなんて、ワクワクします。

最初に無線を発明した人ってすごいなあ!



伊豆地区 三島第5団 カブ隊 高良 美結

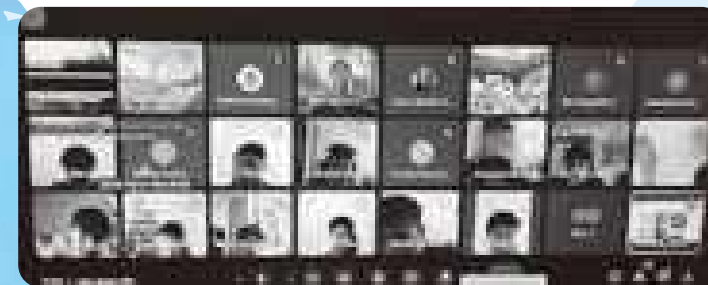
10月20日、わたしはカブの活動でバングラディッシュとのオンライン交流会に参加しました。一番、思い出に残ったのはジャンケン大会です。わたしは、ジャンケンには日本独自の文化だと思っていましたが、相手の国にもジャンケンがあったおかげで、あまり言葉が通じなくても、一緒に楽しむことができました。日本では、グー、チョキ、パーは、石、はさみ、紙ですが、他の国では何と表現するのか、もっともっと知りたくなりました。



伊豆地区 函南第2団 ベンチャー隊

中島 怜

函南第2団はJOTIで、イギリス、ギリシャ、イタリア、インドネシア、マレーシアや南アフリカなどとの交流に成功しました。ベンチャー隊のプロジェクトとして申し込みから実施まで行いました。英語で簡単な自己紹介をした後、ベンチャー隊が弾くギターを伴奏に連盟歌を歌いました。カブ隊など英語が苦手なスカウトは、英語ができるスカウトがカタカナで発音を書いてあげるなどサポートし、全員が交流を楽しめるよう工夫しました。想定よりも多くの国と関わることができ、とても有意義な時間となりました。



【静岡県連盟JOTI
プログラム2024】
を開催して

国際専門委員会 委員

野田 由男

過日、2024年10月19日、20日で主会場を青少年会館、その他オンライン参加で「静岡県連盟JOTIプログラム2024」を開催しました。JOTIの意図は「インターネット上でスカウト同士の集い(ジャンボリー)を開催する」であります。県連内で募集した結果、5つの団から延べで80名ほどの参加があり、海外(マレーシア、シンガポール、アメリカなど)から90名ほどで合計170名ほどの参加がありました。司会は、昨年、在日していたボーイスカウトアメリカ(BSA)イーグルスカウトのジョンさん(現在、米国で大学院生)に今年もお願いしました。準備は10日間ほど毎晩のようにオンライン会議を開き、準備しました。

プログラムは言葉のギャップ(壁)を想定して、単純な参加方式にして実現しました。

司会のジョンさんが英語・日本語混在で進めて、国際委員会で後方支援をしました。

内容的には英語と日本語での自己紹介文例研修、実践トレーニング、次にジョンさんの原隊、カスケードパシフィック連盟、BSAでのスカウト運動のプレゼン、その後、国際委員会から静岡県連盟、日本のスカウト運動、静岡県を紹介するプレゼンからスタートしました。

その後は世界のジャンケン遊びを学び、実践して楽しみ、その中ではビーバー、カブでもやっている「マクドナルドじゃんけん」も入れました。最後に皆で歌える歌(イツ・ア・スモール・ワールドなど)を合唱して、締め括りました。

スカウトたちも指導者の皆さまも「異言語への挑戦」「外国の皆さんとの集い」を通して何か【国際】という感覚を感じてくれたと信じて、次年に向けて、準備を開始します。

ご協力いただきました皆さまには心から感謝をしております。ありがとうございました。

海外スカウトとの アマチュア無線交信

静岡地区 静岡第14回 カブ隊 隊長 徳澄 大輔

最近の法改正により、有資格者同伴であれば誰でもマイクを握ることが出来るようになり、初めて原隊でJOTA参加しました。従来は、国内遠距離や海外との交信には大きなアンテナに大出力の無線機が必要でしたが、今回はインターネットとデジタル通信を用いて、地元公民館から簡易な設備で県外や海外の無線局と交信しました。

前半、愛媛県の元カブ隊長さんとなつがり、スカウトと交信して頂きました。無線のオペレートはさることながら、さすがカブ隊長経験者だけありスカウトの心をがっつりと掴んだオペレートで1時間はあっという間でした。

後半は、組集会で練習した自己紹介の英語を駆使して海外のスカウトとの交信に挑戦。アメリカとオーストラリアのJOTA参加スカウトと簡単な自己紹介で会話を交わしました。休憩時間には他国のスカウトの声も聞こえてきて、スカウト達は興味津々。

地元の活動場所に居ながらにして海外スカウトと世界ジャンボリーの楽しさの片鱗を堪能したカブ隊で、有意義な活動が出来ました。

楽しかったアマチュア無線

静岡地区 静岡第14回 カブ隊 望月 椰生(なお)

アマチュア無線を使って交信をするJOTAに参加しました。法律が変わって、アマチュア無線の免許を持っている人が隣にいたら、免許を持っていない人も交信できるようになったそうです。交信を始める前、ぼくはドキドキしていました。交信する相手が外国人だと思っていて、英語が話せないからどうしようかと。さらに、たい長が一番近くにいたから、一番目にやろうと言われ、もっとドキドキしました。一回目の交信相手は日本の方で、昔カブスカウトのたい長をしていて、無線きの前でけい礼をしているとお話してくれました。しゅみはアマチュア無線と教えてくれました。本当は、アマチュア無線いがいのしゅみを聞こうと思っていたのに。交信相手の方が、ぼくの名前(なお)と声の高さで、男の子か女の子か分からなかったことと、同じみようじ(もちづき)のスカウトと兄弟かと思われたことがいんしょうにのこっています。またやりたいです。



初めてのアマチュア無線

静岡地区 静岡第14回 カブ隊 大塚 燈真

ぼくはJOTAで世界中の人とアマチュア無線で交流しました。初めは無線から色々な国の人の声が聞こえてきて少しきんちょうしていましたが、話すたびに少しずつきんちょうなくなりました。無線で日本人の元スカウト隊長と話したときに、どうしたらきんちょうなくなるかを聞くと「交信している人のことを友達や、近所の人とおもえばいいよ」と教えてくれました。次は自信をもって交信をしてみたいと思います。

ぼくはもっと無線をしてみたいと思ったのでアマチュア無線の免許をとることにしました。僕は組長なので、みんなよりもっとレベルアップをしてしっかりと組長をやっていきたいと思っています。これから色々なことにチャレンジしていきたいです。

カブスカウトで初めて 無線をやりました。

静岡地区 静岡第14回 カブ隊 繁田あきら

はじめは日本の人と日本語で話をしました。言葉が通じるから、緊張しました。喋ってる人の声が、ドラゴンボールのフリーザに似てるのが面白くて、他の人にも教えたかったです。

次に外国の人と人生で初めて無線で話をしました。私はスプラトゥーンというニンテンドースイッチのゲームが好きなんで、まず好きなゲームはなにか聞きましたが、ボイススカウトのゲームと勘違いしてしまったようで、私の言い方が悪かったなと思いました。さっきと違って言葉が通じないから、逆にそんなに緊張しませんでした。緊張はしなかったけど、何をどんなふうに話していいか分からなかったから、困りました。今度、無線の免許をとります。知らない人と話をしたり、仲良くなるのは本当は好きだけど、無線で話をするのは苦手なので、まず父と交信するつもりです。そのうち、友達や知らない人と交信するのも面白いかもしれないので、少しわくわくします。

第25回

全国スカウトフォーラム

第25回全国スカウトフォーラムが、2024年11月2日から4日にかけて兵庫県立嬉野台生涯教育センターにて開催されました。「高校生年代×地域社会 ～私たちだからできること～」をテーマに全国から代表スカウトが集まり「きっかけを作れるVSが先陣を切る!!身の回りの人を巻き込み、“地域をよりよくする意識を0から1へ”」との採択文が採択されました。当県連盟からは浜松地区浜松第12回の園部桃子さんと島崎太輔さんが県連盟代表として参加しました。



最高の仲間と出会えた全国スカウトフォーラム

浜松地区 浜松第12回 ベンチャー隊 園部 桃子

フォーラムは正直めっちゃくちゃ楽しかったです。今回私が経験した、地域のために私たち高校生ができることを、全国から来た仲間たちと話し合うという時間は、学校では絶対に経験できません。私達はフォーラムで丸二日間、全国からその地域特有の課題を持って集まったスカウトたちと、深く深く掘り下げて話せました。話し合いが大好きな私にとって最高の時間でした。しかし、班での話し合いでは沢山行き詰まったし、うまく話が進まないことも勿論ありました。しかし、そんな時間も楽しいと思えるほどの最高の仲間と出会いました。

私の班は、岩手、新潟、栃木、兵庫、広島、熊本、そして私静岡のスカウト計7名で構成されており、話し合いでは敬語もなく、様々な方言が飛び交う空間が広がっていました。私はこの空間をとっても心地よく感じました。これから今回のフォーラムで出た提言文を元に地域の仲間たちと活動を広げることにはわくわくが止まりません。





浜松東地区 地区委員長 稲野 吉弘

2024年10月20日日曜日晴れ、浜松東地区大会が始まりました。参加総勢約350人、開催地は海岸線に近接した遠州灘海浜公園避難マウンド(いのち山)付近です。午前10時、ご来賓のあいさつ、今年は西部ブロック3地区委員長、静岡県連盟理事長にご参席いただきました中で、恒例の前年度活躍されたスカウト、指導者への顕彰がおこなわれました。午前11時、地震だ! あぶない、逃げよ! てんてんご〜! 全員一斉に避難マウンドへ駆け上がりました。身をもって避難する体験、避難マウンドを全速で駆け上がりました。昔から、「てんてんご〜」と呼ばれている我が身を守ることを第一にそれぞれが心がけよと言っています。

午後1時、交流活動として部門別スカウト班編成をおこない、救急搬送や水・食材の調達、持ち出しリュックの重さなど各団ブースを回り、いざという時に備える体験をおこないました。



今年度地区大会テーマは防災における“そなえよつねに”。静岡県は東海地震が叫ばれ数十年、地域住民の地震災害に対する意識も高く、特に昨今では巨大台風襲来、崖崩れ、豪雨、そして南海トラフ地震予測が緊迫感をさらに高めています。ボーイスカウト運動に携わる者としてスカウトを始め関係各員へいざという時のための備えの意識を体質として身に着けておくべきと考えています。

かつて大正末期におこった関東大震災ではボーイスカウトが震災後活躍した記述が残されています。我々はそなえなければなりません。災害直後ではボーイスカウトの活躍には無理がありますが、むしろ災害後の生活支援など、行政関連、地域自主防への積極的連携を行うべきと大会を通じて切に感じています。そして社会課題に対処するボーイスカウトとしていまこそ運動が望まれている時代はありません。この大会でおこなわれた災害時の様々な想定をした体験をきっかけに“そなえよつねに”が身に付くきっかけになることを願っています。



伊豆地区大会 「現代をかけるカブスカウト」

伊豆地区 大仁第1団 カブ隊長 杉山 洋平

10月27日、今年の伊豆地区地区ラリーは三嶋大社で開催され、カブ部門では各団のカブスカウトをシャッフルして混成組を編成し、三嶋大社周辺の史跡などを巡るフォトゲイニングが行われました。

私は大仁第1団カブ隊長に就任してから早2ヶ月、伊豆地区での初仕事として、地区ラリーのカブ部門の導入ストーリー作成という大役を仰せつかりました。

以前から異世界転生を想定文にしようと考えており、三嶋大社に縁のある源頼朝を異世界転生させる案も検討しましたが、現実に存在した人物を異世界転生させることに違和感を覚えました。そこで、源頼朝の幼少期「鬼武丸」が現代にタイムリープする案に思い付きました。そして、タイムリープとフォトゲイニングを結びつけるため、架空の映画「時をかける鬼武丸」のロケハンをする設定を取り入れました。

超有名映画監督と助監督に変装した副長達が現実に登場し、カブスカウトたちに撮影地の写真撮影と調査を依頼する形で、フォトゲイニングのチェックポイントを巡るように進行をしました。その結果、カブ部門の要件を満たし、世界観もイメージしやすい物語が完成しました。また、混成組のカブスカウトたちは初対面にもかかわらず、指導者の心配をよそにすぐに仲良く楽しんでいる姿を見て、充実した地区ラリーを過ごすことができました。

地区ラリーを通して分かったこと

伊豆地区 三島第5団 ボーイ隊長 酒井 汐梨

私はこの地区ラリーで分かったことが2つあります。1つ目は班員との協力です。私は班長になって間もなく、班員のことがわからなくて、どうしようかと困っていました。でも、今回の地区ラリーで協力のしかたが分かり、協力することがどれだけ大切かもわかりました。

2つ目は、班員との話し方です。私は人と話すことがとても苦手です。いつも話し方や、交わり方が分からなくともなやんでいました。でも、地区ラリーを通して分かりました。

私はこの地区ラリーで分かった事や良かった所を次に生かし、悪かった事を改善して、次の活動に生かしていきたいと思います。



ボーイスカウト 志太・島田地区

発足70周年を祝う会

現在の志太地区、島田地区は、1954年、志太榛原地区として発足し、その70周年を祝う会が開催されました。1970年に2地区に分かれ現在に至っています。

去る11月17日、藤枝市文化センターには、両地区のスカウター70人ほどが集い、第1部式典では、祝辞とともに「更に100周年を目指す、もっと近くの将来を見つめ、確実な足場固めをしていかねばならない」といった挨拶を頂きました。



志太地区 川村進実行委員長



島田地区 柴田伸二実行委員長



島田地区 鈴木教之地区委員長



志太地区 酒井達陽地区委員長

第2部として、3TCへ参加したベンチャースカウトたちから「他の地域のスカウトとの交流、すべてを自分たちで決め、実行した経験は素晴らしかった」との報告があり、出席者は、若きスカウトたちの体験をわが思い出に重ねうれしく聞きました。第3部の祝賀会では、70周年を祝うとともに、少年時代の思い出話や地区運営の苦労話を語り合い、楽しい時間を過ごしました。最後に、両地区の益々の発展と、参加者の健勝を祈念し弥栄三唱でお開きとなりました。



2024年夏の気付き

沼津地区 沼津第4団 ボーイ隊 隊長
野田 由男
(静岡県連盟国際専門委員会)

団内では、ボーイ隊長を担当していますが、今回は静岡県連盟国際専門委員会メンバーを拝命して、2024年夏多くの経験とご奉仕をさせていただきましたので、そこからの気付きを投稿させていただきます。これらの経験をスカウトたちへフィードバックしたいです。そこで気付いた「現代技術」活用について記します。

今回は台湾訪問(台湾ジャンボリービジター)、台湾台中3TC参加隊プレキャンボリー支援、13NA(第13回特別支援が必要なスカウトのための大会)での国際班としての外国参加隊支援でした。

今回のご奉仕での大きな気付きは最近の翻訳アプリ利用の新しい技術でした。台湾ジャンボリー参加時は、台湾連盟の日本人指導者(台湾の方とご結婚されて台湾でスカウト運動に参加されている方)が全面的にサポートしてくださったので私の35年振りに台湾訪問での会話もうる覚えの中国語で何とかできました。しかし、台湾台中3TC派遣隊指導者のおふたりを中心にスカウトたちとやり取りする時に私が35年前に得ていた中国語では簡単な会話しか出来ず、困ってしまったのです。指導者のおふたりも英語で話し掛けると困惑している様子であり、彼らも翻訳アプリを使い始めたので私も使い始めました。

しかし、翻訳アプリやChatGPTを使い、翻訳して、その画面を直接見せたり、距離がある時にはそれをSNSに書き込んで発信しました。しかし、この時に問題が起きたのが、翻訳精度で完全に正しく翻訳されなかったのです。その時は、昔学んだ中国語の理解に基づき、読んでみて、概ね正しいと判断できるところはそのまま使い、気付いた不具合は、その場で修正しました。例えば、「陳さん」は「陳先生」と翻訳されます。男性なら正しいですが、女性では「陳小姐」に修正しなくてはなりません。私の名前「野田由男」も「野田佳夫」と勝手に変換されるので修正が必要でした。しかし、今の技術は大きく進化していることを経験出来ました。

その後の13NAではUDトークというリアルタイムで異言語コミュニケーションだけでなく、音声認識した内容を文字化して表示、発音してくれるアプリを知りました。異言語コミュニケーションの支援だけでなく、聴覚障がい者、視覚障がい者の皆さんを支援出来る世界になっていました。

以下に参加した3つの奉仕活動の概要を列記します。

①台湾ジャンボリー(台湾12NJ)参加

- 台湾12NJオープニング茶話会、開会式への公式招待者としての参列
- 台湾12NJの会場訪問、見学
- 台中3TC参加隊との面談、事前確認作業
- 経験してよかったこととして…
- 台湾新幹線や便利になった公共交通機関(地下鉄等)の利用
- 後藤新平さんの像と出会えた
- 台湾の伝統文化に触れた



12NJ野営区にて

②台湾台中童軍3TC派遣隊のプレ大会で富士山周辺、静岡県内をご案内

- 山梨県富士吉田市内での景勝地、北口本宮浅間神社等ご案内
 - 静岡県清水区内エスバルス・ドリームプラザご案内
 - 静岡県立地震防災センターでの研修
 - 日本平、久能山東照宮探訪
 - 静岡市内探訪
- 一番残念だったのが、曇り空や夕立などが多く、富士山が一度も姿を見せてくれなかったことでした。台湾の皆さん、本当にいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。



静岡地震防災センターにて

③13NA(第13回日本アグーナリー)大会運営ご奉仕

- 国際班所属で3ヶ国(香港・マレーシア・バンラディシュ)からの参加隊支援
- 大変だったこととして…
- 異言語だけでなく、聴覚障がい者への多重な対応
- 異文化、特に宗教、食生活、生活習慣の違いの対応
- ▶公衆風呂(大きなお風呂に入れない)
- ▶お祈りの時間



13NA国際班メンバー

結果として、途中で仕事をしながらも概ね40日間連続でご奉仕をさせていただきました。

多くの海外の皆さんと笑顔で別れ、再会を誓うことが出来ました。多くの海外スカウト関係者、日本の諸先輩方の支えをいただき、何とか任務を遂行出来ました。心から感謝をしています。



13NAでウルトラマンと外国参加隊



電波は地球を回っている

静岡地区 静岡第27団 カブ隊 宮藤 花

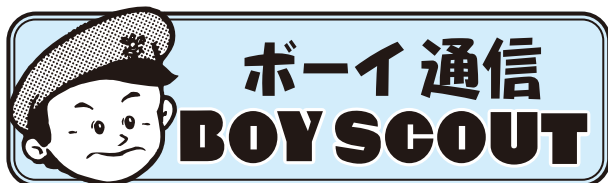
わたしははじめてむ線をやりました。さいしょはむずかしそうだったけどせつ明をしてもらったらできるようになりました。金子さんとお話をしました。あったことがない人や遠くの人とも電波を使って話せるのがすごいと思いました。世界中の人と話してみたいです。



野外料理

富士宮地区 富士宮第21団 カブ隊 有賀 友哉

ぼくは隊集会で、外で料理をしました。木やマッチを取り出してきて、台にセットをしてマッチで火をつけました。はんごうの中にお米を入れてかまどにセットしました。二十分くらい火にかけながら、弟と二人で火を見ていました。早くたけないかなと思っていました。ご飯をたいた後、レトルトの牛丼や親子丼を水の入ったなべで温めました。紙皿にご飯や牛丼の具を入れて食べました。お米はたきたてということと、自分でたいたお米ということもあって、とても美味しかったです。



木曽駒ヶ岳登山

浜松東地区 浜松第6団 ボーイ隊 河原崎 綾太

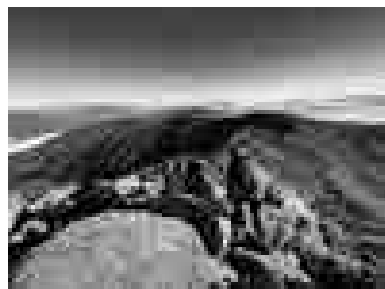
僕は、登山に行く前は正直、「こわいなあ。」と思っていました。なぜなら断崖絶壁を登ったり、大きな岩を飛び越えたりすると思ったからです。

一日目は、中部天竜駅から駒ヶ根駅まで電車に乗り、バスでしらび平まで移動し、そこからロープウェイで千畳敷まで行きました。ロープウェイから見た紅葉はめちゃくちゃきれいでした。ロープウェイを降りてみんなで家から持ってきたポテトチップを出したら袋がパンパンに膨らんでいました。高い山に登ると膨らむんだと知ってびっくりしました。さて、いよいよ登山の開始です。千畳敷から宝剣山荘

を少し越えたところまで歩き、一日目は終了。山小屋でおいしい夕食を食べました。夜になって疲れて寝ようとしたんですが、あまりの寒さになかなか眠れませんでした。次に登山に行くことになったら、登山のときは防寒対策をしっかりしようと肝に銘じました。

二日目は、宝剣山荘を出てしばらく歩くと木曽駒ヶ岳の頂上が見えてきました。そこで生まれて初めて本物の雷鳥を見ました。よくよく見てみると愛らしいかわい顔をしていました。次に遭難記念碑まで歩きました。この記念碑は大正2年に大量遭難事故の記憶を風化させないために建てられたものでした。記念碑の前でみんなで敬礼をしました。僕は、この事件を教訓として胸に刻んでおこうと思いました。

そのあと、濃ヶ池の近くで山荘の人が作ってくれた弁当を食べました。ご飯を食べ終わるとそこからは体力勝負です。今にも折れそうな梯子を一人ずつ登ったり、2m以上ある大きな岩がごろごろしているところを歩いたりしました。そこを過ぎたら普通の山道が楽に感じるほどでした。大変な思いもしたけど、一緒に頑張る仲間がいたから、忘れられないいい思い出になりました。



このような体験を企画してくれたベンチャー隊の先輩にありがとうございます。僕も先輩のようなベンチャーになりたいです。

ボーイ隊に上進して出来るようになったこと

浜松地区 浜松第19団 ボーイ隊 野末 大翔

ぼくはボーイスカウトをやっていますごく楽しいです。ぼくはボーイスカウトを始めて6年です。今までビーバー、カブ、ボーイとやってきてボーイになってやれることが増えていろいろなことをできるようになりました。例えば火起こしなどができるようになりました。カブの時はまだあぶなかったからできなかったけど、ボーイになって安全なやり方を学びできるようになりました。そしてスカウト活動の中でぼくが楽しいと思っている活動は2つあって海洋活動とスキー活動です。なぜかという、今まで体験したことないことを体験できたからです。

ぼくは、これからまだまだ体験したことないことを体験してみたいです。

でも色々なことをやると楽しいけど危険もともなうので安全にけがをしないように色々なことを体験してどんどん活動に参加して楽しんで活動していきたいと思っています。

ちかいとおきて

富士地区 富士第1団 ボーイ隊 望月 里美

私は今年、高校受験を迎えます。今は最後の追い込みをかけている最中です。

これまで誰に何を言われることもなく、当たり前のように小学校に通い、そして今は中学校へ通っています。何故それが必要なのか、何のために必要なのか、こればっちもその理由を考えたことなどありませんでした。同時に、当たり前じゃないこと、自分で考えることがこんなにも大変なのかと痛感しています。

そんな時に、ボーイスカウトのちかいとおきてが頭に浮かびました。“スカウトは誠実である、スカウトは友情にあつい、スカウトは礼儀正しい、スカウトは親切である”。誰に言われることなく、自分自身で考え活動していることに気づきました。そう思ったら、少し勇気が湧きました。自分は考えて行動できるスカウトなんだと。

あと少しですが、目標の達成に向けて頑張りたいと思います。



指導者だより

「月見バーガーを作ったよ」

清水地区 清水第19団ビーバー隊 隊長 林 歩

清水19団ビーバー隊はスカウト3名+αと少人数ですが仲良く活動しています。今年度は自然を感じること、季節の巡りとともに繰り返される行事を取り入れた活動を多く計画しました。みどりの募金活動、6月の田植え体験、三保内海で海遊び、9月防災教室では能登半島地震の話を聞きながら『避難リュック』に必要な物と自分で入れたい物を考えました。10月はお月見集会を行いました。お月様をテーマにした絵本の読み聞かせ、お月見クイズを楽しみ、月見バーガー作りに挑戦です。お父さん、お母さんに見守られながら包丁を使いパンを切ります。卵を割り、お月様に見立てた目玉焼きを焼きます。

「黄味がつぶれたあー」「まん丸に出来たあー」出来映えにスカウトたちの歓声があがります。お皿に、パン・野菜・ハンバーグを順にのせて完成です。みんな口いっぱいほうばり、口々に「おいしいね」「上手く出来たね」と、完食しました。後片付けでは、自分で使った食器は自分で洗い、



棚に戻します。早く片付けを終えたスカウトは誰に言われることなくまだ片付けをしているスカウトを手伝う姿も見られました。これからの活動の中で、一人ひとりの積極性を大切にしつつ、仲間を思いやる気持ちを大切に育てていけたらと考えています。

日々成長

磐田地区 磐田第7団ベンチャー隊 隊長 岩山 千亜紀

磐田7団VS隊は所属3名ですが、高3もいるため実質2名で活動しています。少人数のためジュニアリーダーとしての活動がメインになっています。ベンチャー課程の理想と現実に戸惑いながらもあるべき姿を目指しています。とは言え、高校生ともなるとプライベートも忙しく中々活動に参加できないって事も多く、うまく活動出来ていない不安にとられる日々でした。9月の活動として掛川城フォトコンテストをやりたいという案が出ました。その時は自分の理想とちょっと違うなど内心思いながらも「じゃあ、計画しようか。」と実施計画書を作るよう促しました。スカウトたちは携帯を使ったりしながらサクサクっと作ってしまいました。すごい。できる!!やるとなったら早いなーとうれしい気持ちになりました。これがきっかけなのかはわかりませんが、1人のスカウトが12月に予定している冬季キャンプの計画をパソコンで企画書風に作ってきたのです。「すごい!!」と感動してしまいました。まだまだ子供に近いところにいる大人のVS。幼さを感じるところもありますが、それが当たり前。背中を押して見守っていきたいと思います。



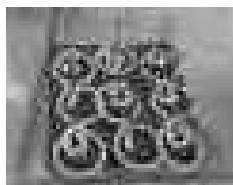
大きな輪をつくろう

沼駿地区 清水町第7団 副団委員長 内田 恵子

清水町第7団では現在ベンチャースカウト2名・ローバースカウト2名と隊長・団委員5名で活動しています。少人数の中、富士スカウトであるローバースカウトたちの協力や支援を得ながら、ベンチャースカウトたちは頑張っ

て日々活動しています。自団では、ビーバースカウト隊が存続していないため、5月22日にスカウト募集のためのわくわく体験会を計画、開催しました。団委員・スカウトで子

どもたちを楽しませるプログラムを考え、当日を迎えました。しかし、残念ながら今回参加者は0でしたが、また計画を立て団存続のためにみんなで力をあわせ頑張っていこうと思っています。





各章に向かって、がんばろう!! 受章者を紹介致します!

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

- 1級スカウト章は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日	地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日
伊 豆	三島第5団	ボーイ隊	木村 紗夕	2024年9月8日	伊 豆	三島第5団	ボーイ隊	野田 千晶	2024年10月6日

- 菊スカウト章は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日	地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日
志 太	焼津第5団	ベンチャー隊	畠山 佑香	2024年9月7日	伊 豆	大仁第1団	ボーイ隊	古屋 紬	2024年10月5日
浜 松	浜松第30団	ベンチャー隊	山本壮司朗	2024年9月7日	伊 豆	大仁第1団	ボーイ隊	高梨 航佑	2024年10月5日
浜 松	浜松第12団	ボーイ隊	齋藤 汐凜	2024年9月12日	伊 豆	大仁第1団	ボーイ隊	藤澤 咲樹	2024年10月5日
浜 松	浜松第12団	ボーイ隊	大場 春輝	2024年9月12日	伊 豆	三島第5団	ボーイ隊	佐野 優太	2024年10月5日
浜松東	浜松第22団	ベンチャー隊	鈴木 開太	2024年10月23日	御殿場・小山	御殿場第6団	ボーイ隊	佐藤 匡輝	2024年10月19日
浜松東	浜松第22団	ベンチャー隊	栩木 秀斗	2024年10月23日	御殿場・小山	御殿場第6団	ボーイ隊	勝又 平伍	2024年10月19日
浜松東	浜松第22団	ボーイ隊	原田 哲充	2024年10月23日					

- 隼スカウト章はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。

地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日	地区名	団 名	隊	氏 名	進級年月日
静 岡	静岡第14団	ベンチャー隊	小森 珠末	2024年10月26日	伊 豆	三島第5団	ベンチャー隊	石見 優縁	2024年11月3日
伊 豆	三島第5団	ベンチャー隊	佐野 璃子	2024年11月3日	浜 松	浜松第19団	ベンチャー隊	横井 麻優	2024年11月22日
伊 豆	三島第5団	ベンチャー隊	井口 詩乃	2024年11月3日					



おめでとう!! 9名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・地域連携委員会

氏 名	地 区	所 属	氏 名	地 区	所 属
小島 朋大	浜松東	浜松第30団 カブ隊	影山 丈一郎	浜 松	浜松第12団 カブ隊
松村 南見	浜松東	浜松第30団 ビーバー隊	杉山 優希	浜 松	浜松第12団 カブ隊
中野 太陽	浜 松	浜松第12団 ボーイ隊	西川 慧一	浜 松	浜松第12団 カブ隊
土本 旦	浜 松	浜松第12団 ボーイ隊	田中 星	浜 松	浜松第12団 カブ隊
萩原 芽依	浜 松	浜松第12団 ボーイ隊			

マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された
“スカウト活動の記事”を
紹介します。



各地区・団で、新聞又は
雑誌などに掲載された記事が
ありましたらご応募下さい。
詳しくは県連事務局まで



令和6年10月29日(火) 伊豆日日新聞 掲載



令和6年11月19日(火) 伊豆日日新聞 掲載

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和6年8月～10月

【日本連盟維持会員】	脇坂 茂	高崎 浩太郎	西山 考司	八巻 知子	【賛助会員】
柴田 尚道	小林 透	B S 磐田地区	勝俣 昇	海野 誠	田中 寛
田代 隆昭	杉山 満	宮崎 賞人	澤田 浩久	小松 優	〈以上敬称略〉
川村 悦子	竹内 良訓	杉山 邦宏	渋谷 茂光	高井 洋希	
(株)ベイブスセンター	脇坂 英子	伊藤 正廣	近藤 由美子	柴田 伸二	
風間 重樹	松田 茂	田中 寛	橋本 智弘	木村 利春	

おしらせコーナー

《定型訓練》

ボーイスカウト講習会
第649回富士地区

日 時

令和7年3月9日(日)

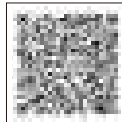
場 所

富士教育プラザ(富士市八千代町1-1)

申 込 み

令和7年2月23(日)まで
(QRコードからお申し込み出来ます)

お問合せ

富士地区事務長 伊東正廣
kotsufzx258@gmail.comボーイスカウト講習会
第650回静岡地区

日 時

令和7年3月9日(日)

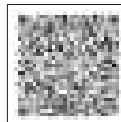
場 所

静岡県青少年会館(静岡市葵区田町1-70-1)

申 込 み

令和7年2月22(土)まで
(QRコードからお申し込み出来ます)

お問合せ

静岡地区指導者委員長 杉山誠一
jq2vez@gmail.com

《定型外訓練》

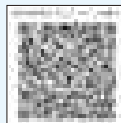
障害児スカウティング研修会

●日 時:令和7年2月16日(日)

●場 所:静岡県青少年会館大ホール

●申込み:令和7年1月31(金)まで(QRコードからお申し込み出来ます)

●お問合せ:静岡県連盟指導者委員長 岡村資和 jtraining@shizuoka.scout.jp



ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(Tel.054-255-6185)まで
ホームページもご覧ください。https://bs-shizuoka.com/General/編集
日記

昨年の秋も各地区の団・隊は野営、地区大会、わくわく自然体験、スカウト募集活動と充実した活動を続けて参りました。2025年も更にモチベーションを上げて楽しく、より充実したスカウト活動を行なっていきましょう。この1月より静岡県連盟事務局が移転となりました。事務所には駐車場がありませんので近くの有料駐車場をご使用下さいませお願いします。お越しの場合は事前にお電話下さい。本年もよろしくお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2025年1月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠1-12-1
静鉄青葉園ビル305号室
TEL054-255-6185 FAX054-204-0773
https://bs-shizuoka.com/General/
編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子
刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市中央区上新屋町30-1 TEL053-467-4678
発 行 部 数 2,800部

たくさんの笑顔をひろげたい、わたしたちはスカウト活動を応援しています。

私たちはボーイスカウトの
活動を応援しています



全国神社スカウト協議会静岡県支部
事務局／長泉町下土狩割狐塚稲荷神社

 **JAふじ伊豆**
www.ja-fujiizu.or.jp

SINCE 1953
**KAWASHIMA
COFFEE**
www.kawashimacoffee.co.jp

貸切バスのご用命は遠鉄貸切バスへ



遠州鉄道株式会社 旅行営業課

TEL.053-457-6470 (受付時間9:00~18:00)

FAX.053-457-6477 ※土・日・祝日は休業日となります

あなたの街の青色申告会

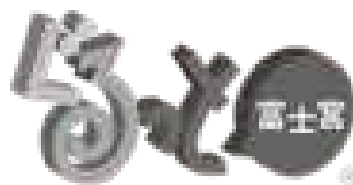
 一般社団法人 **清水青色申告会**

〒424-0821 静岡市清水区相生町6番17号
静岡市清水産業・情報プラザ1階
TEL 054-353-2555 FAX 054-353-8892
https://shimizu-aoiro.org



平野硝子株式会社
代表取締役 平野浩司

〒431-3121 浜松市中央区有玉北町 1752-1
TEL 053-434-0015 FAX 053-434-3914
www.sumai-kaiketsu.com



ふじのみや市
特化型ポータルサイト
富士宮の耳寄り情報、
ぐるっとまわること。



www.gurutto-fujinomiya.com **FC6** ふじのみやエフ・シー・エス

掲載サイズ 横 **80mm**

掲載サイズ 縦 **40mm**

たちばな
に広告を載せませんか?
掲載企業・団体募集中!

※広告のお問合せは県連事務局までお問い合わせ下さい。

おしらせ

ボーイスカウト静岡県連盟の
事務所が移転しました!

**1月17日
より!**

〒420-0839

静岡市葵区鷹匠1-12-1 静鉄青葉園ビル305号室

※1F静岡消化器科クリニック

TEL / **054-255-6185**

FAX / **054-204-0773**

メール / office@shizuoka.scout.jp

※事務所ビル前は清水方向の一方通行。専用駐車場はありません。
近隣の一般有料駐車場をご利用下さい。ご来訪の前には一報頂くと助かります。

